

オストメイトの公衆浴場での入浴の手引き

オストメイトが公衆浴場で入浴する場合の5つのポイント

公衆浴場では、必ず装具を付けて入浴します。

装具は、前日に取り換えておくと剥離の心配が少なくなります。

入浴のタイミングは、食前か食後しばらく経った排泄の少ない時間帯を選びます。

入浴時間帯は、利用客の少なそうな時に行くのが楽です。

個室や家族風呂を利用するのも一つの方法としてよいでしょう。

浴室に行く前にトイレや旅館等の自室で行う準備について

トイレで、ストーマ装具の中の排泄物进行处理し、空にしておきます。

ストーマ装具の処置としては、入浴用キャップやミニパウチに取り換える方法(写真)、

パウチを三つ折りにして固定したり、脱臭フィルター付の場合にフィルターシールを貼

ったりする方法(写真)、全面皮膚保護剤の場合に、面板の外側にテープで固定する方法(写

真)、装具の上から保護シートを貼ったり腹帯など巻いたりする方法(肌色であり目立た

ないものを利用するとよいでしょう：写真)があります。

また、トラブルに備え装具セットを浴場へ持参しましょう。



①入浴用キャップ



②消化管用ミニパウチ

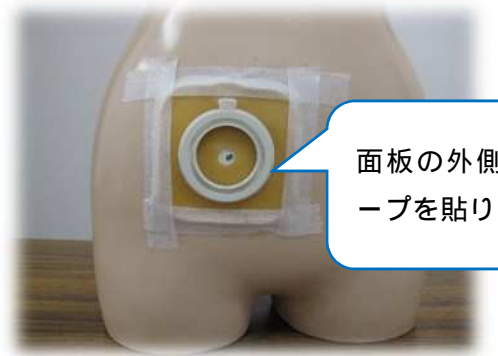


③尿路系用ミニパウチ



④脱臭フィルター付の場合

フィルターシールを貼
り、三つ折りテープで
しっかり固定します



⑤全面皮膚保護剤の場合

面板の外側にテ
ープを貼ります



⑥装具の上から保護シートを貼る場合

装具の上を保護シ
ートで被います

入浴前の脱衣場での準備について

事前に浴場内のトイレを確認しておきましょう。

公衆浴場では、必ず装具を付けて入浴します。

脱衣場では、他の利用者の目が気にかかるようでしたら、照明が少し暗くなっているような目立たない場所を選び、周囲に人のいない場所で、衣服を脱着してもよいでしょう。

浴室内について

洗い場でパウチから排泄物を出してはいけません。

洗い場でパウチを脱着はしてはいけません。

洗い場で面板を取り外しストーマの洗浄はしてはいけません。

浴室内では、他の利用者の目が気にかかるようでしたら、以下のような方法があります。

- ・ 洗い場では、ストーマが左にある人は左端に、ストーマが右にある人は右端に座ると人目につきにくいようです。
- ・ 移動するときは、装具の部分をタオルで隠しておきます。洗い桶を持つと、タオルを入れることも出来るので便利です。
- ・ 浴槽内では、人の出入りが少ない場所に入り、装具は手で押さえておきます。

入浴後の脱衣場での処置について

装具についている水分は、乾いたタオルで拭き取ります。

入浴用の装具や保護シートを使用している場合は、日帰りでの入浴の場合には多目的トイレなどで旅館等に宿泊している場合には自室に戻ってから、入浴用の装具や保護シートを取り換え通常の装具を取り付けます。

装具の蜜着がおかしいなど異常を感じた時は、装具セットを持ってトイレで処理します。脱衣場では装具の脱着は行わないでください。

オストメイトに関する2つのマークを紹介します



ハート・プラス マーク

オストメイトを含む身体内部（心臓、呼吸機能、じん臓、膀胱・直腸、小腸、肝臓、免疫機能）に障がいのある人を表しているマークです。（身体内部に障がいのある方が着用して使用します。）



オストメイトマーク

オストメイトのための設備（オストメイト対応トイレなど）があることを表しています。

オストメイトであることを隠さず、隠す必要のない社会を実現しましょう

（問い合わせ先）

公益社団法人日本オストミー協会宮崎県支部

廣志 秀月 携帯電話 090-8412-5468

E-mail: ostomyhirshi@ybb.ne.jp

日本オストミー協会宮崎県支部では、宮崎県の委託を受け「オストメイト社会生活適応訓練事業」として各種の研修会等を県内で実施しています。